

2018年度 事業計画

1. はじめに

当地域の経済は、好調な世界経済を背景に、設備投資が増加傾向にあるなど緩やかな拡大基調が続いています。一方、米国の政策動向、朝鮮半島や中東の地政学リスクなどもあり、先行きは見通しにくい状況にあります。

エネルギー業界では、電力・ガス全面自由化に伴い、エネルギー事業者間の相互参入が進み、競争は激化しております。また、省エネの進展や再生可能エネルギーの普及に加え、自動車産業における電動化、AIやIoTなどデジタル化の急速な進展などは、社会・産業構造を変化させ、エネルギー業界にも大きな影響を与えると考えられます。

ガス小売全面自由化2年目を迎え、競争環境は一層厳しさを増すものと想定されますが、引き続き当地域に根差すエネルギー事業者として、都市ガス事業をより強靱なものとするとともに、都市ガス・LPG・電気の最適な提案を通じて地域のお客さまに選ばれ続けることにより、トータルエネルギーシェアを拡大します。また、経営環境の大きな変化を捉え、グループ事業の成長と新規事業の開発に向けた取り組みを推進し、持続的成長を実現します。

2. 主要施策

(1) 強靱な都市ガス事業の構築

天然ガスの普及拡大に向け、供給基盤の拡充と保安・防災対策を推進します。また、お客さまの安全・安心の確保に向けた取り組みを進めるとともに、競争力の強化に努め、強靱な都市ガス事業を構築します。

①供給基盤の拡充と保安・防災対策の推進

都市ガスの安定供給と輸送能力の向上を図るため、三重幹線Ⅳ期（河芸～津）、土岐～可児線Ⅱ期、土岐～多治見線（いずれも2018年度完成予定）、南部幹線（2018年度建設開始）など、基幹路線の建設を進めます。また、これらの周辺エリアでの導管ネットワークを整備し、都市ガス供給エリアを拡大します。

保安・防災対策については、製造・供給設備の着実な高経年化対策などの実施とともに、発災時の緊急遮断ブロックの細分化、自治体などとの連携や防災拠点ビルを中心とした災害対策体制の強化など、ハード・ソフト両面からの対応を進めます。

②お客さまの安全・安心の確保

ガス機器修理などの24時間365日の受付体制のもと、180拠点・総勢3,000人の「まかせて安心 ガスのプロ」が、高い技術力をもってお客さまの安全・安心を確保します。

また、より安全にガスをお使いいただくため、非安全型ガス機器、不良給排気設備を低減させる取り組みや、業務用換気センサーの設置などを進めます。

③競争力の強化

低廉なエネルギーの安定調達に向け、シンガポールに設置した情報収集拠点も活用し、契約形態、価格指標、調達地域の多様化を進めるとともに、知多・四日市両地区のLNG基地の一体的な運用により、LNG受入の柔軟性向上を図ります。

デジタル技術を活用した生産性向上や、非開削工法の導入による導管工事分野のコストダウンなど、あらゆる分野における一層の経営効率化に取り組みます。

また、ガス機器・設備の効率向上や省エネ診断ツールの機能拡充など、省エネ・省CO₂に資する技術開発を強化します。

(2) トータルエネルギーシェアの拡大

都市ガスの需要開発に引き続き取り組むとともに、LPG・電気も含めた一体的な営業活動を展開します。また、お客さまのニーズに合わせた各種サービスの提供により、お客さまとの一層の関係深化を図ります。これらの活動を通じてより多くのお客さまに当社グループがお届けするエネルギーを選んでいただき、トータルエネルギーシェアを拡大します。

①都市ガス事業

<家庭用分野>

当社およびグループ会社、ENEDOが一体となり、ライフスタイルに合わせた最適なエネルギー利用やエネファームなどのガス機器提案、「らくらくメンテ」、「らくらくリース」、「らくらく暮らしサポート」、リフォーム提案など、お客さま一人ひとりのご要望にきめ細かくお応えします。

また、会員サイト「Club TOHOGAS」のサービスメニュー拡充や、ガス・電気のお問合せにワンストップでお応えする体制を整備するなど、お客さまの利便性向上に取り組みます。

<業務用分野>

都市ガス供給エリアの拡大に合わせ、他燃料からの燃料転換、高効率なガス空調やコージェネレーションの導入など、新規需要の開発を進めます。加えて、電気・LNG販売や省エネ診断、総合ユーティリティサービスの提供など、最適な設備導入・エネルギー利用を実現します。

本年9月には、東海地区最大級の体験型業務用厨房ショールーム「プロ厨房オイシス」を「みなとアクルス」内に開設し、ガス厨房の魅力を幅広く発信していきます。

②LPG事業

都市ガスの営業活動と連携しつつ、お客さまニーズに応じた最適なエネルギーや高効率なガス機器・設備の提案を進めるとともに、東海3県に加えて、より広いエリアでの需要開発を推進します。また、LPG卸売事業の拡大に向けて、卸先事業者へのサポート体制の充実など、一層の関係強化に努めます。

需要増に確実に対応するため、名港LPG基地や充てん所の耐震化・能力増強に取り組むとともに、他事業者との連携も含め、充てん・配送ネットワークを拡充します。

③電気事業

お客さまとのあらゆる接点機会を活用し、電気と都市ガス・LPGや各種サービスを組み合わせた最適な提案を進め、お客さま数を拡大します。

電力調達・需給管理を一元的に担う「電力事業推進部」を設置し、昨年運転を開始した四日市工場内の発電設備を活用しつつ、幅広い事業者からの卸取引や市場調達を組み合わせ、低廉かつ安定的な電力調達を実現します。

(3) グループ事業の成長、新規事業の開発

エネルギー事業との連携による既存グループ事業の強化に加え、当社グループが有するノウハウを活用した新規事業を開発します。

①スマートタウンの実現

名古屋市港区において建設中の「みなとアクルス」は、本年9月にまちびらきを迎えます。

CEMS*を活用した最適なエネルギーの一括供給による国内最高水準のエネルギー効率を達成するとともに、災害時のライフライン機能の維持など、環境面や防災面に優れたスマートタウンを実現し、地域の活性化に貢献します。

※CEMS：コミュニティ・エネルギー・マネジメント・システム

②グループ事業の成長、新規事業の開発

家庭用分野でのリフォーム事業や業務用分野での総合ユーティリティサービスの推進、当社が持つ製造・供給関連技術の拡販など、グループ事業の成長に向けた取り組みを進めます。

新規事業の開発を強化するため「事業開発部」を設置し、安全・安心サービス、地域活性化支援、エネルギー高度利用を中心とした事業創出を図ります。また、海外においても、豪州・イクシスLNGプロジェクト（2018年生産開始予定）やポルトガル・ガス配送事業への参画に続く事業機会の発掘に努めます。

（４）事業基盤の整備

お客さまや地域社会、株主・投資家の皆さまなどステークホルダーから信頼される企業であり続けるため、リスク管理やコンプライアンスの徹底など、内部統制の強化を図ることにより、コーポレートガバナンスの向上に努めます。

ベテラン層から若手層への確実な技能伝承や、事業領域の拡大などに向けた多様な人材の確保・育成を進め、人材力・現場力を強化するとともに、社員がいきいきと活躍できる労働環境の整備に努めます。

地域のエネルギー事業者として、お客さま先での環境負荷を軽減するとともに、水素ステーションの整備など水素関連技術の普及に取り組み、低炭素社会の実現に貢献します。

3. 2018年度数値計画（連結）

（１）お客さま数

	単位	2017年度 （実見）	2018年度 （計画）	対前年 増減	対前年 伸び率
都市ガス（取付メーター数）	千件	2,459	2,482	+23	+0.9%
LPG（受託配送含む）	千件	490	494	+4	+0.9%
電気（お申込み件数）	千件	85	140	+55	+64.7%

（２）ガス販売量

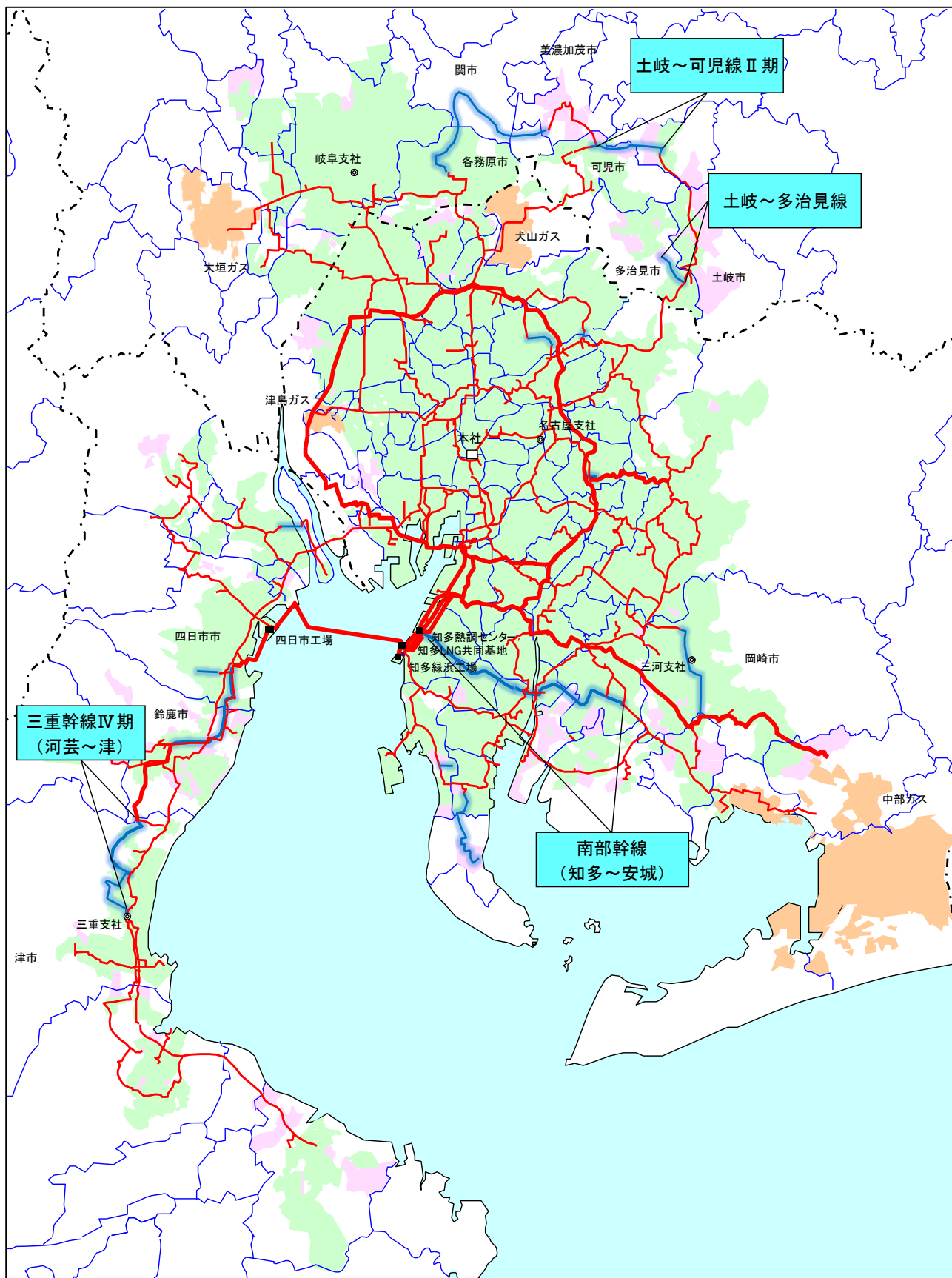
	単位	2017年度 （実見）	2018年度 （計画）	対前年 増減	対前年 伸び率
都市ガス （LNG含む）	百万m ³ （百万m ³ ）	4,028 (4,109)	3,944 (4,027)	△84 (△82)	△2.1% (△2.0%)
LPG	千トン	463	466	+3	+0.7%

（３）設備投資額

	単位	2017年度（実見）	2018年度（計画）
東邦ガス	億円	325	279
グループ会社	億円	72	86
計	億円	397	365

以上

<都市ガス供給エリア図>



- 当社都市ガス供給エリア
- 主な当社新規都市ガス供給予定エリア(2018～2022年度)
- 卸供給先都市ガス供給エリア
- 本社
- 支社
- 工場
- 基幹路線
- 計画路線